

企画展プレスリリース

「箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展 ～花愛でるころ、恋の詩^{うた}とともに～」

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
標記の件につきまして、本書のとおりご案内申し上げます。

1 展覧会名 開館25周年記念展Ⅰ 箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展
～花愛でるころ、恋の詩^{うた}とともに～

- 2 会 期 令和4年4月27日〔水〕～6月26日〔日〕
休 館 日：月曜日（ただし、5月2日は開館）
開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

3 展覧会概要（資料2～3ページ参照）

岡倉天心(覚三)は『The Book of Tea (茶の本)』の中で「人類において、花を観賞することは、恋愛の詩と時を同じくして始まったに違いない。原文: Surely with mankind the appreciation of flowers must have been coeval with the poetry of love.」と述べ、人間が花に寄せる想いは、愛情を詩歌に託すのと同様、人類と動物とを分かち、人間にとって根源的なものであるという考えを示しています。

私たちの生活を彩る花は、芸術の中でもポピュラーなモチーフとして用いられてきました。そして明治に始まる「日本画」の歴史のなかで、画家たちは古画の模倣から離れて写生を強く意識し、また植物学、博物学などの知識を背景に、新たな視点で花や植物を描いてきました。

本展では成川美術館の4000点を超える日本画コレクションから、花をテーマに多様な作品を精選してご紹介します。戦後の日本画家達による代表作の数々をご覧くださいと共に、花々の彩りにこころ躍らせ、癒やされるひとときをお楽しみください。

4 出品作品（資料5ページ参照）



森田りえ子「首夏」平成8年(1996)年
箱根・芦ノ湖 成川美術館蔵

《問い合わせ先》

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711 E-mail:kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当:井野功一(いの こういち)/広報担当:横山智絵(よこやま ともえ)

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介いたします。

(<http://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>)

企画展プレスリリース「箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展」

1 展覧会名

箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション展 花愛でるこころ、恋の詩^{うた}とともに

2 会 期

令和4年4月27日〔水〕～6月26日〔日〕

休館日：月曜日（ただし、5月2日〔月〕は開館）

開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

3 会 場

茨城県天心記念五浦美術館 展示室ABC

4 主催等

主催：茨城県天心記念五浦美術館 協力：箱根・芦ノ湖 成川美術館

5 後 援

朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／株式会社茨城放送／NHK水戸放送局／産経新聞社水戸支局／
東京新聞水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局／北茨城市／北茨城市教育委員会

6 入館料

一般730(630)円／満70歳以上360(310)円／高大生520(420)円／小中生320(210)円

※（ ）内は、20名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証をご持参の方および付
添いの方1名は無料

※土曜日は高校生以下無料（春休み期間を除く）

※4月30日〔土〕は満70歳以上無料

7 本展のみどころ

- (1) 箱根・芦ノ湖成川美術館が誇る4000点余りのコレクションより、山本丘人や堀文子といった戦後の巨匠から、那波多目功一、平松礼二、田渕俊夫など現在活躍中の著名作家まで、戦後日本画の名品を紹介。
- (2) 「花」をテーマにした、誰でも気軽に楽しめるわかりやすい内容。美術に関する予備知識はなくても、花々を描いた美しい作品に心癒やされる展示空間。屏風作品などの大作を中心に17作家45作品を展示。
- (3) 花の画家として人気を博した堀文子、綿密かつ繊細な筆遣いで様々な花を描く那波多目功一、艶やかな花と女性の表現で知られる森田りえ子など、花を得意とする名手たちの競演。
- (4) 牧進の描いた福島県三春の瀧桜、森田りえ子の描く福岡県八女市の黒木の大藤など、名木をモデルとした作品から、名もなき野草を描きとめた作品まで、画家たちの多様な視点を比べて楽しめる展覧会。

8 広報文

- (1) 岡倉天心(覚三)は『The Book of Tea (茶の本)』の中で「人類において、花を觀賞することは、恋愛の詩と時を同じくして始まったに違いない。原文：Surely with mankind the appreciation of flowers must have been coeval with the poetry of love.」と述べ、人間が花に寄せる想いは、愛情を詩歌に託すのと同様、人類と動物とを分かち、人間にとって根源的なものであるという考えを示しています。古くから私たちの生活を彩り、祭事などで重要な役割を果たしてきた花は、芸術の中でもまたポピュラーなモチーフとして用いられてきました。そして明治に始まる「日本画」の歴史のなかでは、画家たちは

古画の模倣から離れ、新たな視点で花や植物を捉え直し、作品に取り込んできました。本展覧会では成川美術館の近代日本画コレクションから、花を描いた様々な作品を精選してご紹介します。

(405 文字)

- (2) 私たちの生活を彩る花は、芸術の中でもポピュラーなモチーフとして用いられてきました。本展では成川美術館が誇る 4000 点余りの日本画コレクションから、花をテーマに多様な作品を精選してご紹介します。山本丘人、堀文子をはじめとする日本画家達の代表作をご覧いただくと共に、花々の彩りにこころ躍らせ、また癒やされるひとときをお楽しみください。

(165 文字)

- (3) 成川美術館が誇る 4000 点余りのコレクションから「花」をテーマとする名品の数々を紹介。花々の彩りに心躍らせる、癒しのひとときをお楽しみください。

(72 文字)

9 主な出品作品(作家生年順)

山本 ^{きゅうじん} 丘人	「地上風韻」	昭和 50 年 (1975)
那波 ^{なばため} 多目 功一	「皐月の頃」	平成 17 年 (2005)
牧 進	「朝清水」	平成8年 (1996)
倉島 重友	「白い響」	昭和 63 年 (1988)
森田 りえ子	「首夏」	平成 8 年 (1996)
湯口 絵美子	「ブルボン・ローズ」	平成 27 年 (2015)
鈴木 ^{さき} 恵麻	「アリとヒマワリ」	平成 21 年 (2009)

10 会期中のイベント

すべてのイベントは事前の申込みが必要です。申込方法は次のいずれかの方法をお選びください。
ただし、イベント毎に選べる申込方法が異なりますのでご注意ください。

・申込フォーム

ホームページの URL、または各種チラシの QR コードを読み込み、必要事項を記入してください。

・往復はがき

①イベント名及び開催日、②申し込む方のお名前、③日中連絡のとれる電話番号、④メールアドレス(任意)を記載し、下の宛先までお送りください。

〒319-1703 北茨城市大津町椿2083
茨城県天心記念五浦美術館 ○○(△月◇日)係

・来館 (総合受付または情報ライブラリー)

その場で申込書をご記入ください。

(1) 担当学芸員による作品解説

展覧会のみどころなど、スライドを用いてご紹介します。

- ・日時 : ①5月22日[日] ②6月4日[土] 各日午後1時30分～(約30分)
- ・会場 : 講堂
- ・定員 : 57名 ※参加無料、当日午後1時より整理券配布予定(先着順)

(2) 来て・見て・発見！アートツアー for kids

美術館職員と一緒に展覧会を見て回り、作品の前で気になることを話し合っ絵の見方を深める活動です。
ミニ制作体験もあります。

- ・日時：5月14日[土] 午前10～12時
- ・対象：小中学生とその保護者（5組まで） ※要事前予約（先着順）
- ・参加費：小中学生無料 ※保護者のみ企画展入場券が必要です。
- ・申込方法：申込フォーム

(3) 映画会

200インチの大画面で懐かしの名作などを上映します。

5月8日[日]：「真昼の決闘」（1952年／モノクロ／アメリカ）

6月12日[日]：「こねこ」（1996年／カラー／ロシア）

- ・各日とも午前10時～
- ・会場：講堂
- ・定員：57名 ※参加無料、要事前予約（先着順）
- ・申込方法：申込フォーム、往復はがき、来館（情報ライブラリー）

(4) 茨城県警察音楽隊ふれあいコンサート

- ・日時：5月28日[土] ※時間は未定。
- ・出演：茨城県警察音楽隊、北茨城市立関本中学校
- ・会場：未定
- ・定員：未定
- ・申込方法：未定

11 感染症拡大防止について

当館では、感染症拡大予防として次のような取り組みを行っています。

- マスク着用のうえ美術館入口での検温および手指の消毒(消毒液は館内数か所に設置しています。)
- ソーシャルディスタンス確保のための展示室内に滞在する人数の制限
- イベント参加人数の制限
- イベント参加者の把握
- リモートワークショップの開催

【広報用図版】 ※表紙の森田りえ子「首夏」も提供可能です。



山本丘人「地上風韻」 昭和50年（1975）



那波多目功一「皐月の頃」平成17年（2005）



湯口絵美子「ブルボン・ローズ」
平成27年（2015）



鈴木恵麻「アリとヒマワリ」平成21年（2009）



牧進「朝清水」
平成8年（1996）



倉島重友「白い響」
昭和63年（1988）

※図版使用に際しての注意

- ・展覧会の紹介を目的とする内容にのみ使用願います。
- ・図版への文字乗せ、トリミング等の一切の加工は御遠慮ください。
- ・図版使用の際は必ずキャプションを明記してください。
作品は全て「箱根・芦ノ湖 成川美術館所蔵」です。
- ・図版はデータでの提供となります。
- ・広報担当まで連絡、または右QRコードを読み込んでリクエストしてください。



当館HPへ

【問い合わせ先】

茨城県天心記念五浦美術館 〒319-1703 茨城県北茨城市大津町椿 2083

TEL：0293-46-5311 FAX：0293-46-5711

E-mail：kouho-tmi@tenshin.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当：井野功一 / 広報担当：横山智絵

※本リリースの記載内容は、当館ホームページで随時紹介して参ります。